

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)  
誉田駅周辺地区

平成27年2月

千葉県千葉市

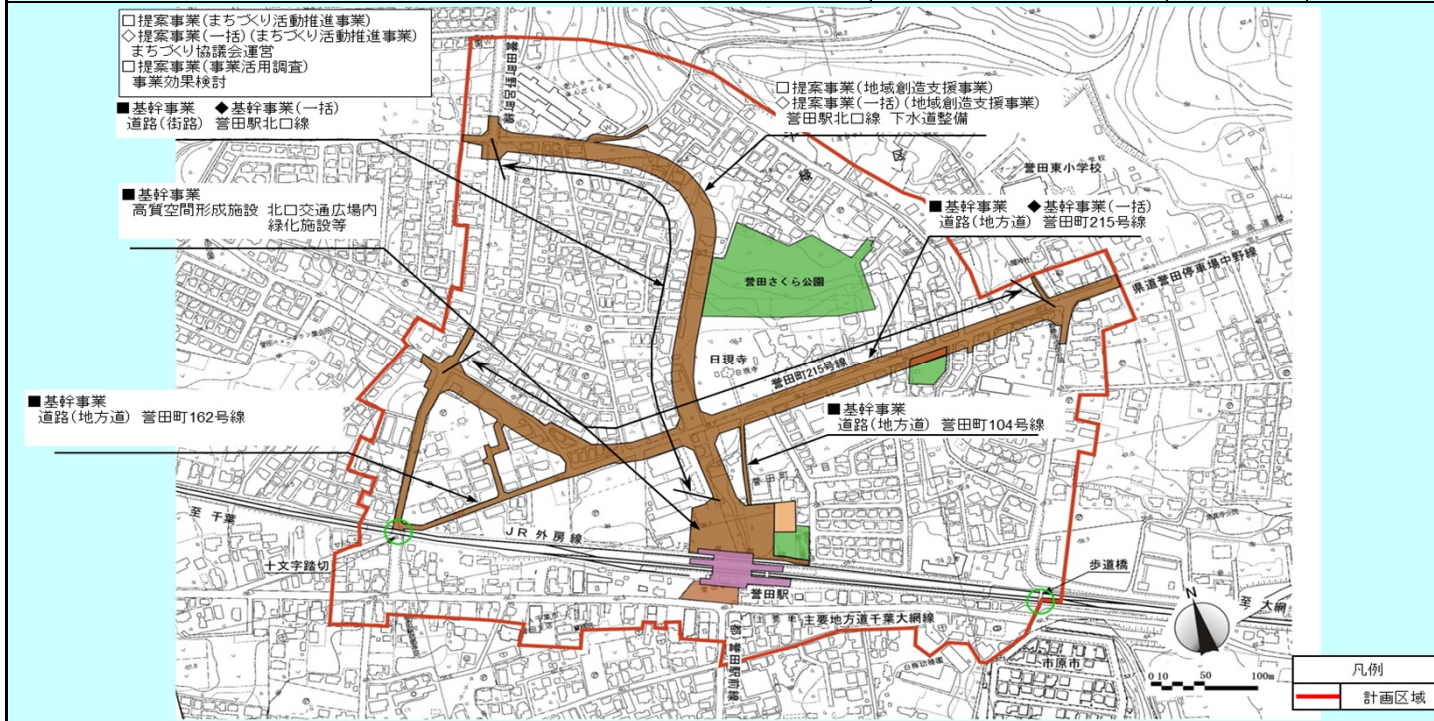
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	千葉市		地区名	普田駅周辺地区			面積	29.6ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	864	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(普田町215号線、普田駅北口線、普田町104号線、普田町162号線)、高質空間形成施設(北口交通広場内)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(下水道整備)、事業活用調査(事業効果検討)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会運営、普田町162号線一方通行等シミュレーション)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-			-					
			提案事業	まちづくり活動推進事業(普田町162号線一方通行等シミュレーション)	事業の廃止			影響なし					
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	駅からの徒歩5分圏域	ha	17.8	H21	19.7	H26	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	総合所見	予定時期
	指標2	幹線道路の安全すれ違い率	%	43.9	H21	54.6	H26	-	19.7	-	あり	普田駅から徒歩で5分以内に到達できる範囲が増加したことにより達成した。	-
	指標3	居住環境満足度のアップ	%	43.1	H21	50.0	H26	-	54.6	-	あり	歩行者の安全なすれ違いが可能な区間が増加したことにより達成した。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値	達成度 <sup>1)</sup>	達成見込み	総合所見	予定時期
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに道路が整備され、街並みが良くなった。</li> <li>各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。</li> <li>普田駅北口広場にサインが設置され、地区外からの来訪者の分かりやすさが向上した。</li> </ul>											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		協議会による意見交換・意見収集等				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2 - 2 地区の概要

### 菅田駅周辺地区(千葉県千葉市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：菅田駅を核とした交通結節点の強化及び地域の生活環境や利便性向上 目標1：交通機能の改善整備及び強化 目標2：地区内の円滑な交通処理と安全な居住環境の確保 目標3：歩行者の安全確保及びバリアフリー化	駅からの徒歩5分圏域	単位: ha	17.8 H21	19.7 H26	19.7 H26
	幹線道路の安全すれ違い率	単位: %	43.9 H21	54.6 H26	54.6 H26
	居住環境満足度のアップ	単位: %	43.1 H21	50.0 H26	56.6 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各道路整備により交通処理能力が向上した。</li> <li>菅田町215号線、菅田駅北口線の整備に併せ、自転車通行帯を設置したことで、交通環境が向上した。</li> <li>菅田駅の北口交通広場内にサインが設置され、地区外からの来訪者の分りやすさが向上した。</li> <li>菅田町215号線、菅田駅北口線が整備され、幹線道路が増え交通円滑性が向上した。</li> <li>「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、菅田町215号線、菅田駅北口線の歩道が整備され、平坦性の確保、透水性の向上などがされた。</li> <li>各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。</li> <li>菅田駅北口線の下水道整備により雨水処理能力が向上した。</li> <li>菅田町215号線の電線類の地中化により防災性が向上した。</li> <li>菅田町215号線、菅田駅北口線の道路整備により通学路の歩道が確保された。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定した交通流になるよう、幹線道路の利用を促す。</li> <li>今後はソフト施策を展開することで防災性の向上を図る。</li> </ul>